

2019年度 大規模災害対策に関する現地調査  
『台湾における大規模地震災害による被害とその対策に関する現地調査』  
**実 施 要 項**

(1)開催趣旨

特定非営利活動法人 大規模災害対策研究機構 (CDR) では、大規模災害のメカニズムやその対策を研究、検討するにあたっては、「現地を見ること、現地の声を聞くこと」が最も重要であるという認識のもと、毎年、全国各地で現地調査を実施してきた。

今年度は、我が国同様に大規模地震が頻発している台湾にスポットを当て、地震被害の概要とその対策について現地調査を実施する。

(2)主催・協力

(主催) 特定非営利活動法人 大規模災害対策研究機構 (CDR)

(協力) 関西大学社会安全学部社会安全研究センター

(現地協力) 台湾成功大学、台湾政府

(3)実施時期、日程 :

- ・時期 : 12月6日 (金) ~9日 (月)
- ・日程 : 3泊4日

(4)調査実施場所 : 台湾

(5)現地調査の内容

台湾は環太平洋火山帯上、フィリピン海プレートの西端の地震活動が活発な地域に位置する。台湾島では、42の活断層が地質学者によって特定されているが、台湾で観測された地震の大部分は、フィリピン海プレートと、島の東のユーラシアプレートの収束によって発生した。

台湾の東方沖は地震活動が活発で、M8クラスの巨大地震もしばしば発生している。しかし、台湾の東海岸には大きな都市が無いこともあって、これまでこのタイプの地震による顕著な被害は記録されていない。一方、島直下の直下型地震では、規模に比して大きな被害が生じている。20世紀には、91回の大規模な地震が観測されており、うち48回では死者が発生している。直近の大地震は1999年9月21日に発生した921大地震 (台湾大震災 : Mw7.6) で2,415人が死亡した。また、最近でもM6以上の地震が多発しており、今年の4月18日にも台湾東部・花蓮県を震源とするM6.1の地震があった。震源の深さは18.8キロ。同県の一部で震度7を観測し、観光客ら2人が落石により負傷、北部の台北市や新北市内でも落下物に当たるなどして15人が軽傷を負った。

921大地震以降、様々な地震対策が講じられており、その状況を調査することは我が国の地震

対策に関する研究、計画検討にも参考になるところが多いと考える。

## (6) 協力機関

### ★企画立案補助・現地対応調整役(現地案内・解説、等)

謝 正倫 (しゃ せいりん) 氏

- ・ 台湾成功大学 水利及海洋工程學系／教授
- ・ 専門分野：流域土砂管理
- ・ 1989年に京都大学防災研究所にて学位取得 (当時／芦田和男先生のもとで)

### ★台湾政府

### ★国内【旅行会社】

日本旅行 大阪法人営業支店 稲本 成美 氏

〒541-0051 大阪市中央区備後町 3-4-1 山口玄ビル 6階

TEL : 06-6204-1812 FAX : 06-6204-1764

## (7) 参加募集人数 : 20名程度 (参加資格：特になし)

※(例年の参加者) 防災に関わる大学教員(教授、准教授等)、学生(4回生以上)、研究機関、自治体、ライフライン企業、ゼネコン、建設コンサルタント、鉄鋼橋梁メーカーの担当者

※例年の参加者数：20～30名程度

※事前アンケート結果(2019年6月21日現在)：11名(参加意思あり)

## (8) 現地移動手段 : 中型観光バスにて移動

## (9) 行程案(調整中)

- ・ 台湾の西側の台南→台中→台北を基本とする。

### ●12月6日(金)

10:00 関西国際空港 集合  
11:40～14:25 関空→台南空港(チャイナエアライン C1193)  
15:30～16:00 移動  
16:00～17:00 台湾成功大学(調査概要説明会)  
17:00～18:00 移動(宿泊ホテル(台南市内))  
18:00～20:00 懇親会

### ●12月7日(土)

8:00～10:00 ホテル出発、移動  
10:00～12:00 国立自然科学博物館 921地震教育公園  
※921大地震(台湾大震災(1999、Mw7.6))による被災痕跡調査  
12:00～14:30 移動、途中昼食  
14:30～16:30 石岡ダム、921地震公園、車籠埔断層  
※921大地震(台湾大震災(1999、Mw7.6))による堰堤被災現場調査  
16:30～17:30 移動  
17:30 宿泊ホテル(台中市内)

●12月8日(日)

8:00～10:30 ホテル出発、移動  
10:30～12:30 故宮博物館視察  
12:30～14:00 移動、途中昼食  
14:00～17:00 台湾政府講演会「台湾における地震対策について」※  
17:30～18:00 移動  
18:00 宿泊ホテル (台北市内)

●12月9日(月)

9:00～9:30 ホテル出発、移動  
9:30～11:30 中正記念堂・忠烈祠視察  
11:30～12:00 移動  
12:00～14:00 台湾 101 ビル視察 (昼食後、耐震高層ビルの視察)  
14:00～15:00 移動  
15:00～17:00 台湾桃園国際空港着 (搭乗・出国手続き)  
17:25～20:50 台湾桃園国際空港→関空 (チャイナエアライン C1158)  
20:50 解散

※ 台湾政府講演会が9日(月)9:30～11:30になる場合があります。その場合は、8日午後は別施設(中正記念堂、忠烈祠、等)を視察します。

(10)必要経費

- ・ 一人あたり参加費用(個人負担費用:概算) : 約14万円前後
- ※ (上記金額に含まれるもの)往復航空券(団体料金(10名以上))、各種税金、空港使用料、燃料サーチャージ、団体旅行保険代、宿泊ホテル代(朝食付)、食事代(昼食3回:2日目～最終日、夕食3回:初日～3日目)、懇親会費(3日分)、高速・駐車場代、施設入場料
- ※ 貸切バス(中型)と現地ガイド代はCDR事務局で補助(負担)します。
- ※ (参考)過去5年間の現地調査にかかる個人負担費用(往復交通費含む)
  - ・ H26(沖縄(石垣・那覇))18万
  - ・ H27(愛媛高知)10万
  - ・ H28(三陸)14万
  - ・ H29(熊本長崎)12万

【お問い合わせ先】

特定非営利活動法人 大規模災害対策研究機構 (CDR) 事務局

〒531-0074 大阪市北区本庄東2-3-20 (株)ニュージェック技術開発グループ気付

担当: 事務局長 吉田和郎 (Kazuo Yoshida)

(TEL) 06-6374-4420 (携帯: 090-6966-1015)

(FAX) 06-6374-5108

E-mail: [cdr@newjiec.co.jp](mailto:cdr@newjiec.co.jp)

<http://www.e-tsunami.com/>